

教科 科目名	芸術科(音楽)	学年・科目群	3学年・選択C	この科目では「アクティブに楽しく学ぶ世界の音楽」をテーマに、様々な体験活動を中心に進めていきます。前期末と学年末には、学んできたことを生かして自由に音楽で表現・発表する機会を予定しています。私たちにとって、音楽とはどのようなものなのでしょうか？その「問い」に対する自分自身の答えを探しにいきましょう！
	総合音楽	単位数(年間授業時数)	3単位(105時間)	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
三つの柱	(1)	知識及び技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようになる。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
教科書 教材	【教科書】Joy of Music(教育芸術社) 【副教材等】楽しい歌とコーラス 7訂版 歌のミュージックランド		
ポイント	(1) 初回の授業に示す「授業のルール」を守り、積極的に音楽の活動に取り組んでください。 (2) 楽譜、ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイルを必ず用意してください。 (3) 音楽室や楽器庫にある机や椅子、リコーダー等の楽器や備品などの取り扱いには、十分注意をしてください。 (4) 授業に使用する教科書や持ち物を忘れた場合は、必ず朝のうちに申し出るようにしてください。授業開始直前・授業中では対応できません。 (5) この科目では、音や音楽に関わるさまざまな活動を行います。歌や演奏の得手・不得手に関わらず、仲間とともにまずはチャレンジしてみましょう。		
学習評価	評価の観点		
	a	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	b	思考・判断・表現	音楽を形づけている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めたり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。
	c	主体的に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4	音をよく「聴く」	・ききなし(耳を澄ます) ・音の高さを聴き比べる ・音色を手がかりに楽器を判断する ・耳をすまして音階を聴き分ける	・聴こえた音を言葉に置き換える ・多様な楽器の音色に気付く ・音色を手がかりに類推する	探究する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	6
	5	声×ことば×うた	・世界の声×ことば×うた インドネシア／ジャワ／アイヌ／インド／ブータン／沖縄／朝鮮半島／ハワイ など	・言葉やリズムの違いを楽しむ ・顔を踏んだリズムの面白さに気付く ・文化の類似点や相違点を比較する	探究する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	9
	6	拍やリズムを「感じ取る」	・竹楽器「トンガトン」のリズム ・バンブーダンスの拍や拍子 ・フラメンコのリズム「コンパス」 ・ハワイ風(かえるの合唱)	・お互いの音を聴き合う ・音の重なりから生まれる響きを感じ取る ・リズムの特徴から雰囲気を感じ取る	探究する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	10
	7	口唱歌を生かして「合奏する」	・祭囃子の太鼓×口唱歌 ・富士元囃子×口唱歌でアンサンブル ・サンバのリズム ・朝鮮半島の「ノリ」による打楽器合奏	・コミュニケーションを図り音楽をつなげる ・口唱歌で様々な祭囃子のリズムを真似する ・リズムアンサンブルで表現する	創造する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	9
	8	音楽を「つくる」	・となえうた／えかきうた ・オリジナルじゃんけん ・《さくらさくら》のイントロを創る	・音の動きの法則を意識して表現する ・楽器の特徴を生かして即興的に演奏する	創造する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	9
	9	総合音楽発表①	歌唱・器楽・創作のいずれかの分野による自由表現活動	・音楽を総合的に捉え、思いや意図をもって表現する	創造する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	14
	10	ケチャによる「音の重なり合い」	・ケチャのしくみとケチャレンジ ・「マイ・ケチャ」を創る ・バリ・ガムラン風の本格派ケチャ	・拍に合わせてケチャのパートを唱える ・音の強弱やリズムを変化させて表現する ・リズムの重なりから、雰囲気を感じ取る	協働する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	8
後期	10	歌舞伎の音楽「長唄囃子」	・《セリの合方》の大鼓と小鼓の口唱歌 ・長唄囃子風(茶つみ)	・大鼓や小鼓の音色の多様性を知る ・かけ合いのリズムを仲間とともに楽しむ ・フレーズとリズムの関わりについて考える	探究する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	8
	11 12	日本のオーケストラ「雅楽」	・雅楽《越天楽》の口唱歌 ・マイ《越天楽》を創る	・雅楽の楽器の音色や音楽的特徴を知る ・旋律のつながりを意識して旋律をつくる ・雅楽の拍の流れにのって旋律を演奏する	創造する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	12
	12	インドの古典音楽 ジャワ・ガムラン音楽	・インド古典音楽の特徴 ・インド風(かえるの合唱)と即興演奏 ・ガムラン曲(ベントロン)	・インド音楽のしくみを用語とともに理解する ・自由に音階をつくり、違いを感じ取る ・楽器の役割を意識してガムランを演奏する	創造する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	10
	12 1	総合音楽発表②	歌唱・器楽・創作のいずれかの分野による自由表現活動	・音楽を総合的に捉え、思いや意図をもって表現する	創造する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言・ワークシート 態 取り組みの様子・振り返り	10
	4 ～ 1	みんなで歌おう！	ヒット曲や愛唱歌、日本民謡、世界の歌、合唱曲など幅広い楽曲から選択して歌唱	・歌唱表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する	継続して挑戦する力	知 ワークシート・表現発表 思 授業中の発言 態 取り組みの様子・振り返り	－
105							

教科 模 範 所	単元 関 連	みんなで歌おう！	様々な時代や国で作曲された歌について、歌詞の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することや、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、その解釈を深めることを意識して歌います。
	文学 国語		